

とよあけ花マルシェに関するアンケート集計結果

回収日時：H29年3月25日 9:00～16:00

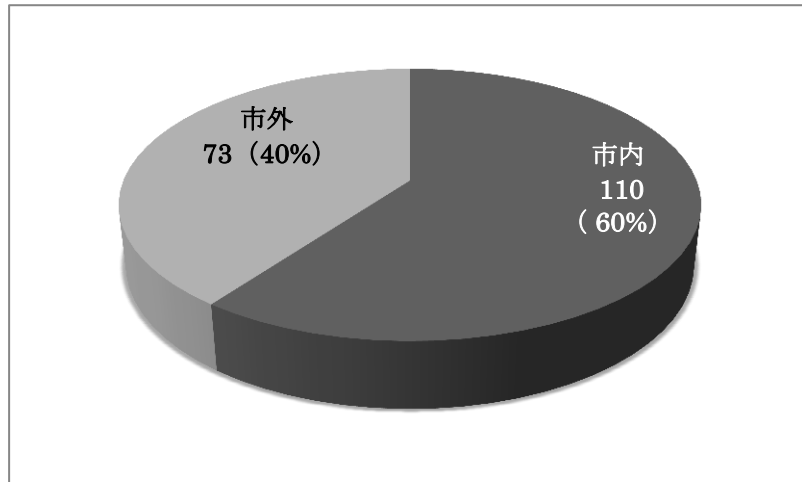
対象者：とよあけ花マルシェイベント来場者

回収方法：花クイズラリー回答用紙裏面を活用して回収

回答者数：185

※グラフは解答があった数値のみで作成しています。未解答の数は反映されていません。

住まいについて

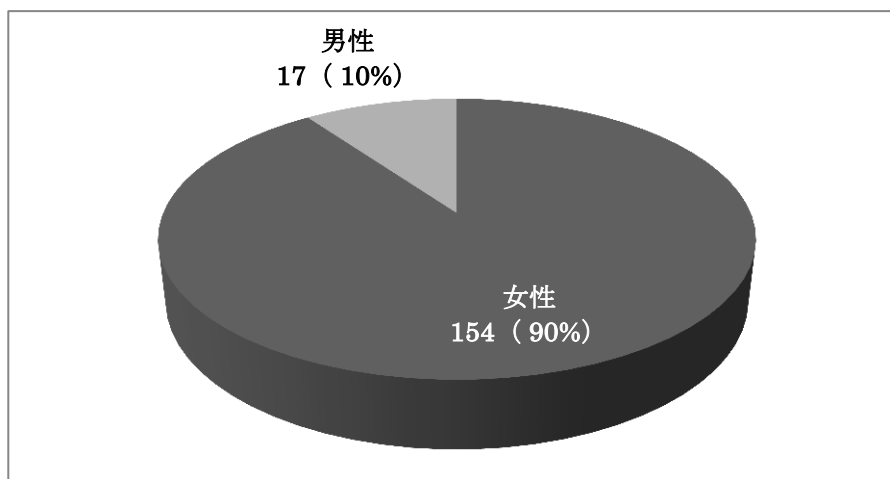


市外内訳

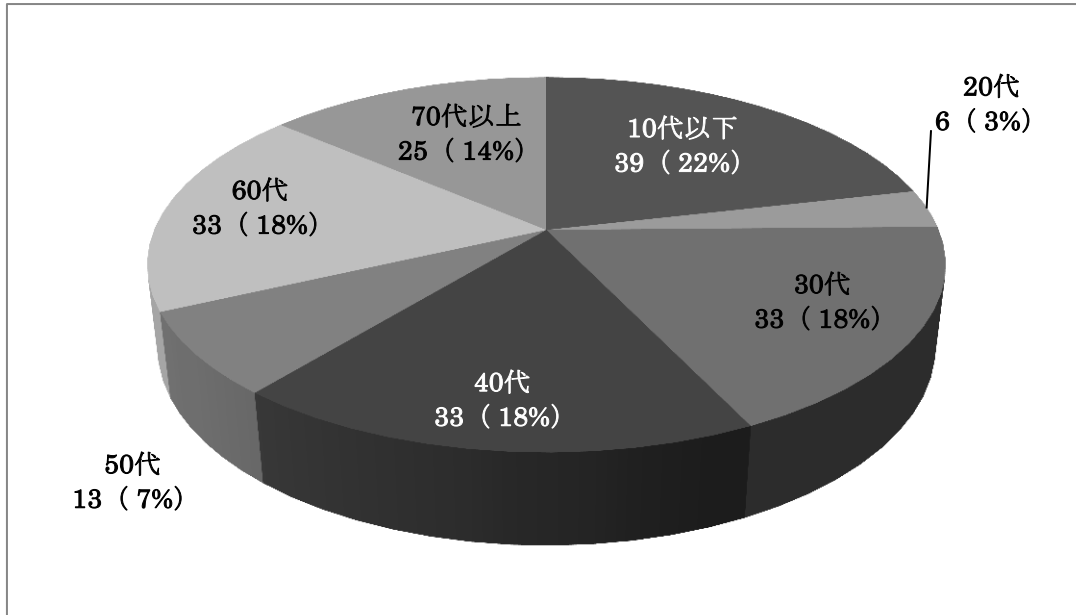
名古屋	23
緑区	4
刈谷	19
東郷	14
日進	3
大府	3
瀬戸	1
豊田	1
小牧	1
東浦	1
豊橋	1
みよし	1

市外の方は市隣接地域の新聞折込チラシがきっかけの来場者が多かった。

性別

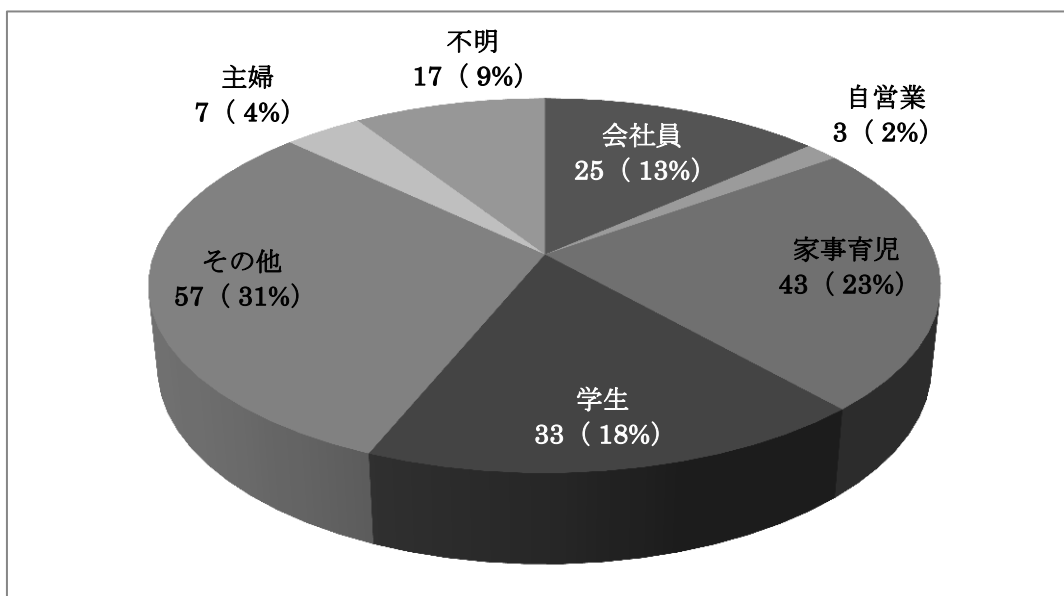


年齢



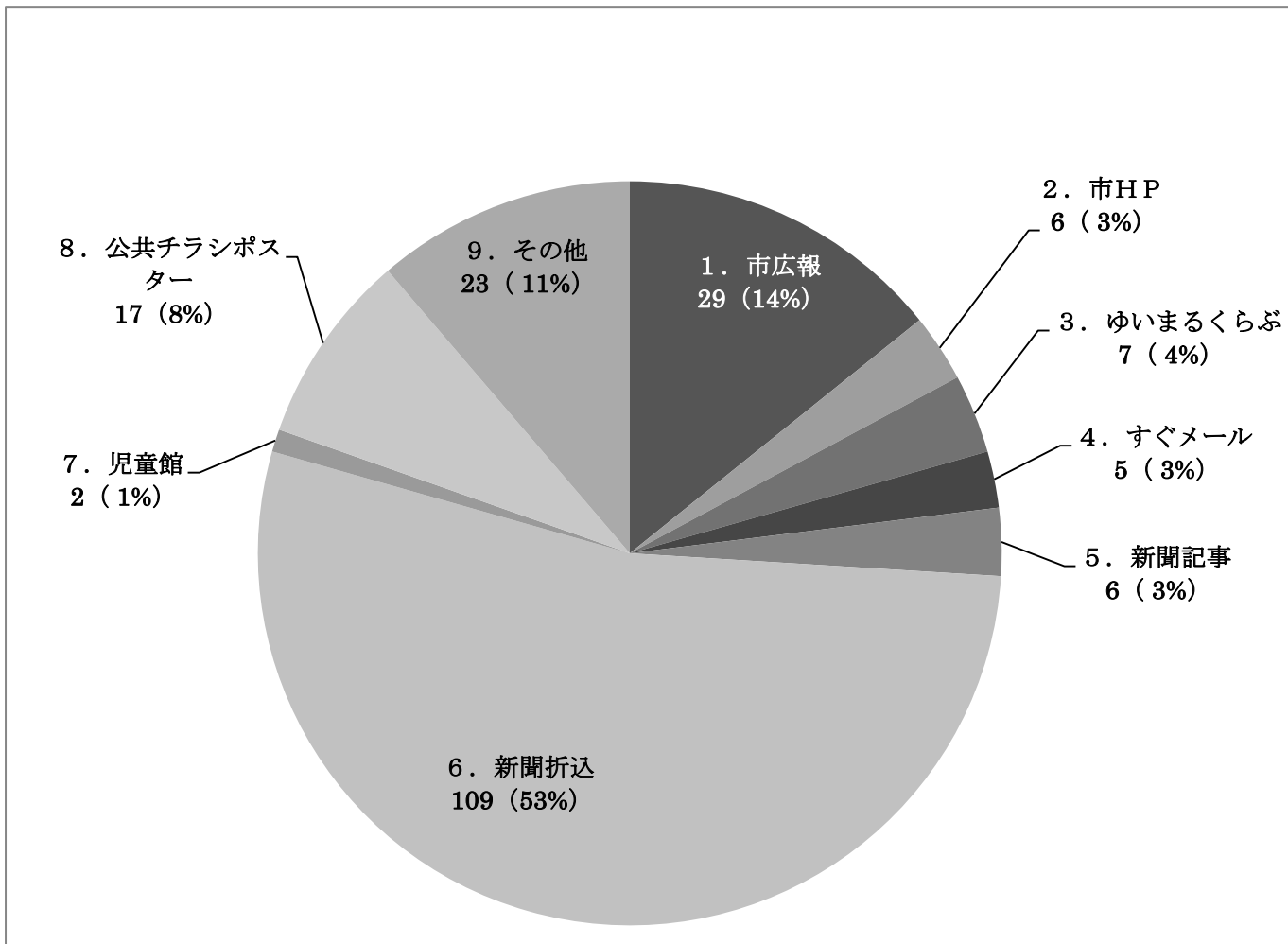
世代を問わず来場していただいたが、20代が特に少ないので20代への周知が不足していたと思われる。

職業



Q1 今回のイベントはどのようにお知りになりましたか？

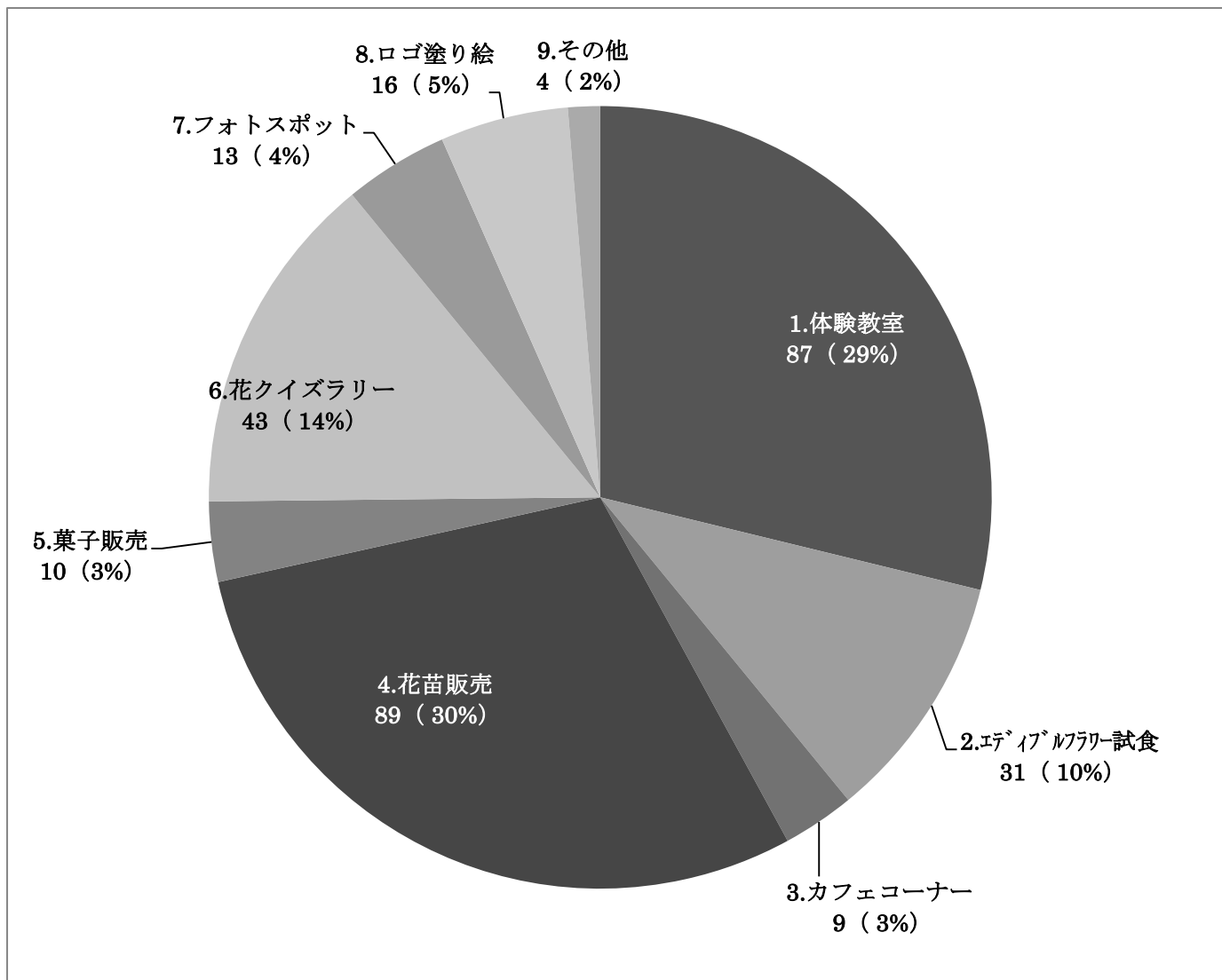
- 1. 豊明市広報
- 2. 豊明市ホームページ
- 3. ゆいまるくらぶ
- 4. 豊明市すぐメール
- 5. 新聞記事
- 6. 新聞折込チラシ
- 7. 児童館
- 8. 公共施設ポスター&チラシ
- 9. その他（ ）



新聞折込を見た方が過半数を占め、効果が大きかった。しかしながら、メール配信なども底上げにつながるのだからあらゆる手段で地道に周知することが来場につながると思われる。

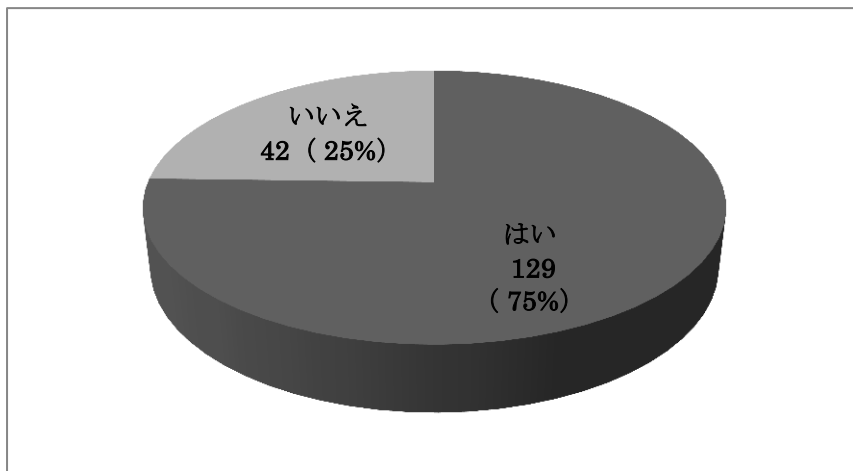
Q2 何を目的に来場されましたか？（複数回答可）

1. ワンコイン体験教室 2. エディブルフラワー試食 3. カフェ 4. 花苗販売
5. 菓子販売 6. 花クイズラリー 7. フォトスポット 8. ぬりえ 9. その他()

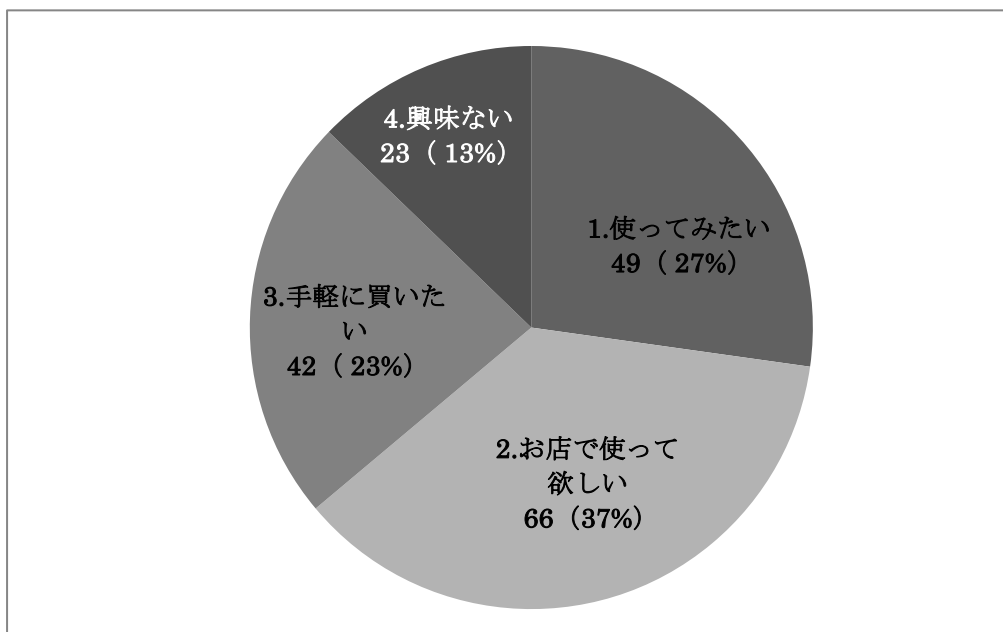


花苗販売が一番多く選択されており、花苗販売に集客力があることがうかがえる。次に体験教室、花クイズラリーが特に多く、特に体験教室は多肉植物寄せ植えが人気があった。複数のコンテンツを選択した回答が多く、複数のコンテンツがあることが集客につながると考えられる。

Q3 エディブルフラワー（食用花）をご存知でしたか？

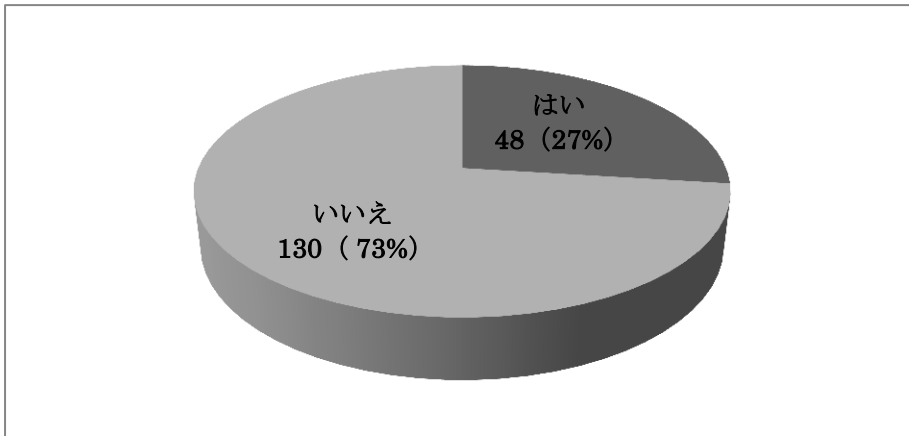


Q4 エディブルフラワーの活用についてどのように思いますか？（複数回答可）

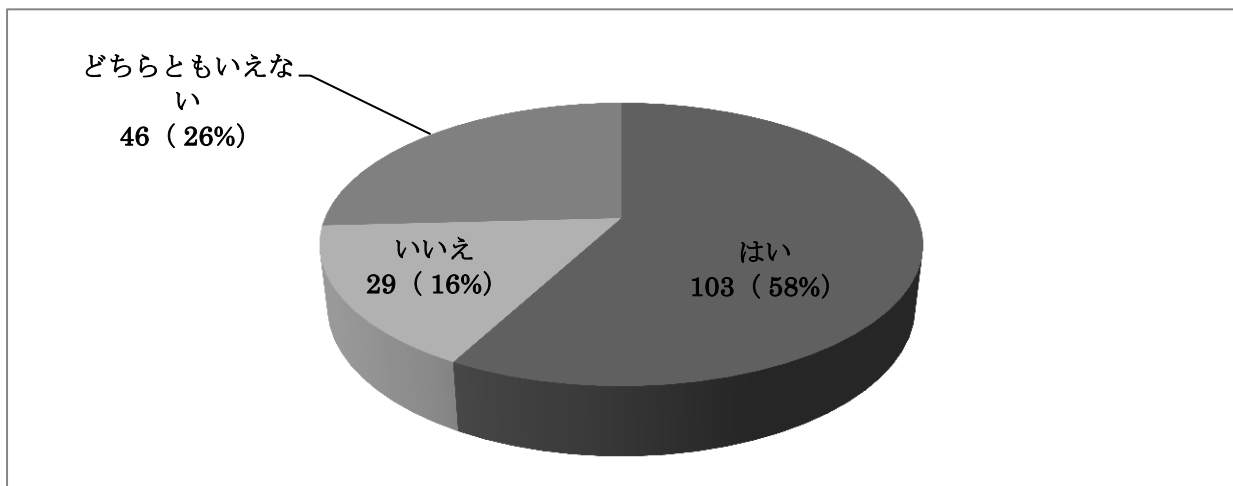


エディブルフラワーの認知度は75%で認知されてきており、使ってみたい、手軽に買いたいという回答も多かった。お店で使って欲しいという意見は37%で、エディブルフラワーへの関心は高いと考えられる。

Q5 市内でエディブルフラワーを使ったお店があるのをご存知でしたか？

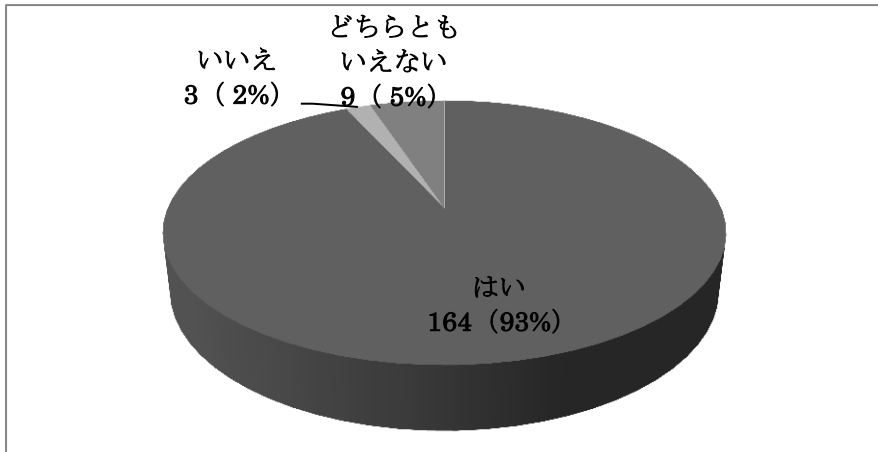


Q6 エディブルフラワーを使ったお店を利用したいですか？

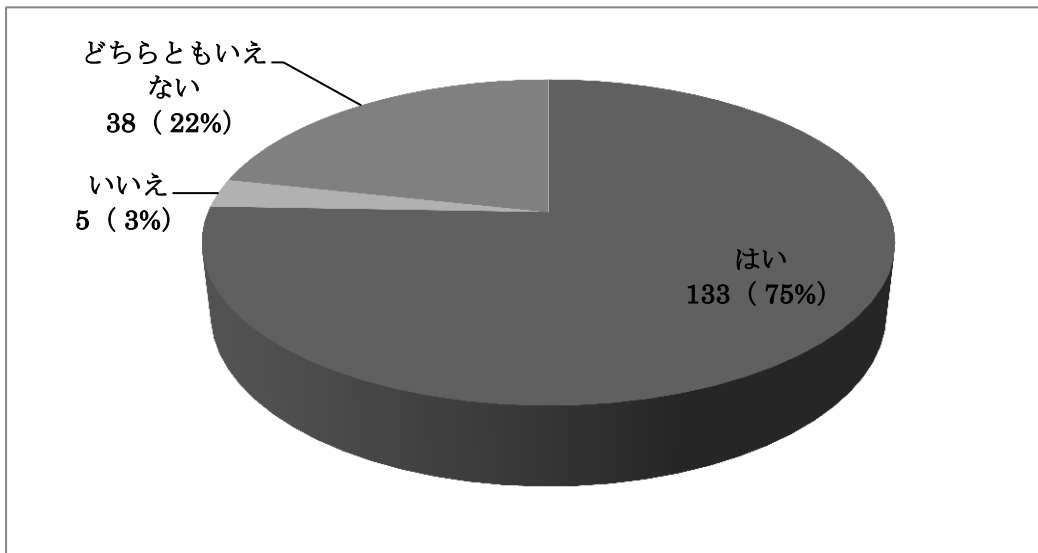


エディブルフラワーへの関心が高いことが分かったが、市内のエディブルフラワーを使用している店舗の認知度は27%と低く、今回のイベントが認知してもらうきっかけになったと考えられる。また、エディブルフラワーを使ったお店を利用したいか尋ねた回答では、約6割の方が利用したいと答えている。どちらともいえないとの回答も26%になるが、食べる機会が少なく味や価格など判断材料がないことが影響していると考えられる。

Q7 花を贈り物に利用したいですか？

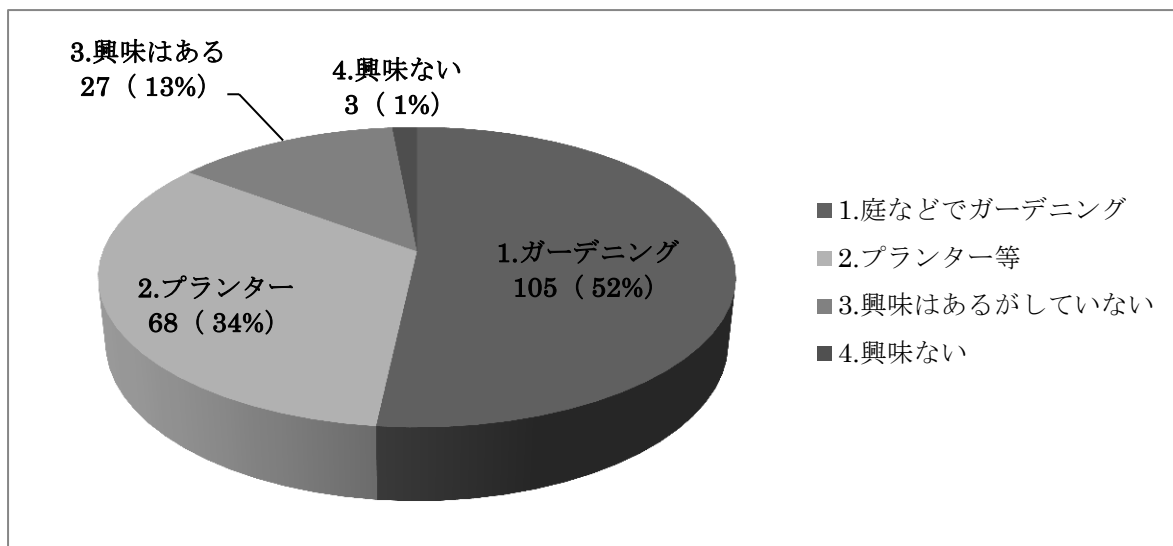


Q8 花をモチーフにしたり、エディブルフラワーを使った、とよあけ花マルシェの商品を贈り物に利用したいですか？

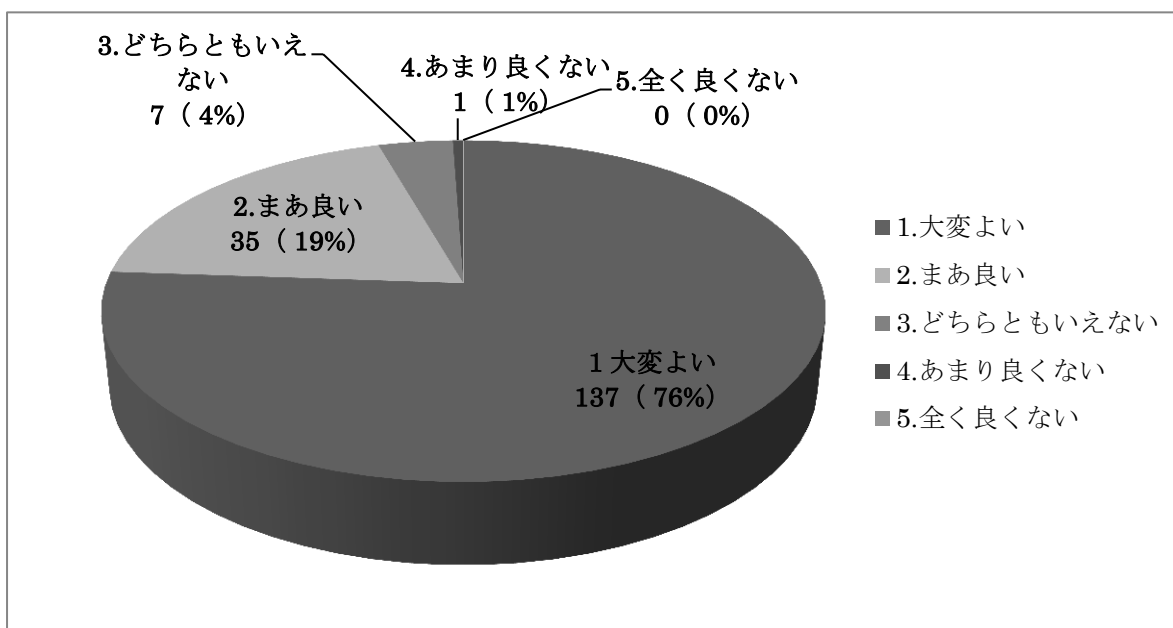


花を贈り物に利用したいと考える割合は93%になり、贈り物としての花の需要が高いことがうかがえる。また、花をモチーフにしたりエディブルフラワーを使った商品を贈り物に利用したいと回答した割合は75%であり、贈り物としてとよあけ花マルシェ商品は需要があると考えられる。

Q9 自宅で花や植物を観賞していますか？



Q10 花をコンセプトに豊明市をPRする取組みについてどのように思いますか？

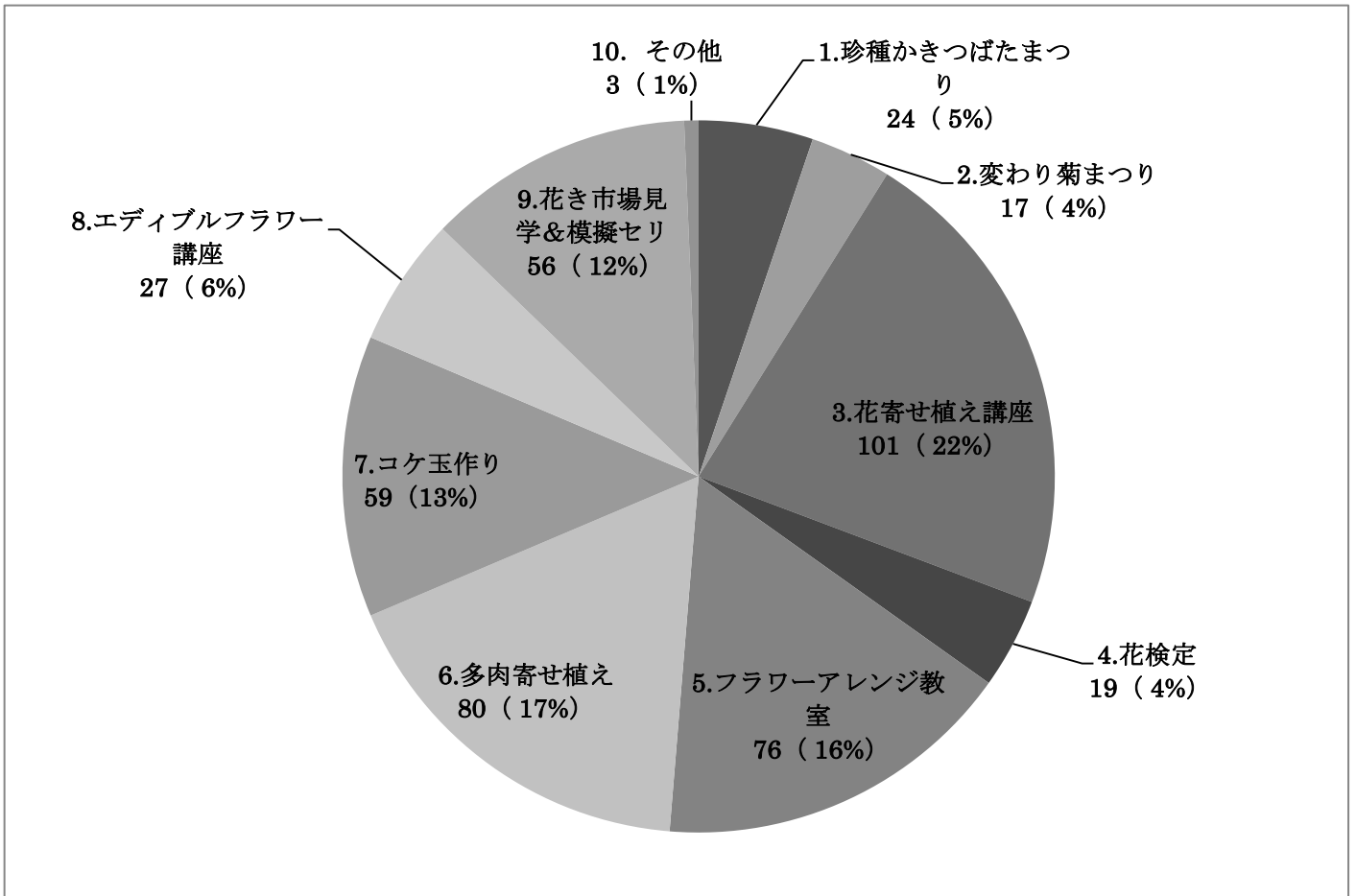


自宅で花や植物を観賞している割合はガーデニングとプランター等を合わせると86%になる。興味はあるがしていないという回答は13%になり、花や植物に親んでもらう方法の提案やきっかけがあれば、伸びしろがあると考えられる。

また花をコンセプトに豊明市をPRする取組みについては大変よいが76%になり、まあ良いと合わせると95%が良いと回答している。

Q11 今後参加してみたい事業はありますか？（複数回答可）

1. 珍種かきつばたまつり
2. 変わり菊まつり
3. 花の寄せ植え講座
4. 花検定
5. フラワーアレンジ教室
6. 多肉植物寄せ植え
7. コケ玉作り
8. エディブルフラワー講座
9. 花き市場見学&模擬セリ体験
10. その他



参加してみたい事業については複数回答が多かったが、花の寄せ植え講座が一番多く、需要が高い。他の教室コンテンツも回答が多いので、珍種かきつばたまつりや変わり菊まつりでは人気のコンテンツを組み合わせることで集客することが必要と考えられる。